

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年1月15日				
みらいてらす						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		一人当たり3平方メートル以上確保している。 十分なスペースが確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		毎月、人員配置と常勤換算を確認している。 マンツーマンでの対応も出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設内は全てバリアフリー化されている。 障害特性に合わせて視覚ツールを用いている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		月1回安全点検を行っている。 毎朝の清掃、玩具等の消毒を行っている。 ソファ等があり休憩できるスペースを設けている。 適度に換気、テーブルの消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		集中したいとき、職員と個別に関わるとき、クールダウンをするときに個室を使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎朝のミーティングで情報共有を行っている。 必要に応じて情報共有が出来る機会を設けている。 年2回、目標設定と振り返りの機会を設けている。	個人面談の機会や業務改善委員会の中で業務の改善に努めている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	年1回、保護者向け評価表アンケートを実施することによって、 保護者の意見に耳を傾け、改善点を考えている。	業務改善委員会の中で保護者様の意向等を把握し改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		意見交換しやすい環境になっている。 朝のミーティング、年2回の個人面談を課題や業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修を行い、資質の向上に努めている。 年間計画を立てて毎月 研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	ホームページにて支援プログラムが公表されている。 支援については特性、状態に応じた支援プログラムが作成できている。	適切に支援プログラムが作成、公表されている。また支援プログラムは職員に回覧にて共有している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者へのアンケートを実施し、アセスメントのほかにニーズを踏まえた支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員間での話し合いの場があり、最善の支援計画を作成するように努めている。 現場職員全員が会議に参加している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		情報は職員間で共有し支援を行っている。 個別支援計画書を書庫の見やすい場所に置き、計画に沿った支援が全員理解できるように努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	標準化されたツールの活用を検討する。	今後の課題です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目全てを踏まえた個別支援計画書になっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日替わりでリーダーの職員が中心となり活動内容を提案したり、専門的支援担当の職員が支援内容を組み込んだ活動内容を提案し活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		新しい活動を取り入れ改善点を見つながら活動内容が固定化しないように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の課題に応じて細やかな設定を行い、集団活動と個別活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝のミーティング時に一日の予定や活動内容と役割分担を全職員で確認している。ミーティングに参加できなかった職員にも周知できるように申し送り記録簿で確認出来るようにしたり、ホワイトボードにも明確に記載している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	支援終了後には緊急な場合のみミーティングを行うが、振り返り気付いた点は翌朝のミーティング時にお子になっている。児童の状態についてはグループLINEを利用し情報共有をおこなっている	緊急時にはその日にて行うが、翌日に支援の振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		担当者が支援目標にあった支援経過記録を入力し、ケース検討会議では支援について話し合い改善する点は改善をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		年2回必ずモニタリングを行い、支援計画書の見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	児童の状態に合わせて4つの基本活動を組み合わせながら支援ができています。	毎年1回、放課後等デイサービスガイドラインについて研修を行い4つの基本活動についての支援について学ぶ機会を設けている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		選択肢を増やす活動を行っている。 選択活動を取り入れた。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	障害福祉、保育園、学校との連携はできている。困りごとがあればすぐに相談できる体制は整っている。	学校等に事業所に来ていただき、児童の様子を見ていただく機会を設けている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		児童の支援に関わってくるので、しっかりと情報の共有を行っている。何かあれば学校に電話確認、また学校のお便り等があるので、確実に下校時間の確認が行われている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	担当者会議に参加して情報共有をしている。また、困りごとがあれば電話にて確認している。	学校入学時等に保育園等や学校などで担当者会議などに参加している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	まだ障害福祉サービス事業所に移行していないが、今後支援内容等の情報共有する準備は整っている。現在は対象者がいない。	移行する際の準備は整っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	ネットワーク会議・研修へ参加している。	今後の課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	長期休暇の際には中高生のボランティアを受け入れ交流する機会を設けている。	マルシェ主催など他のこどもと活動機会を増やしている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	連絡協議会に参加している。	積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用日には必ず連絡帳と送迎時に、事業所での様子を伝えている。また、必要に応じて電話やLINE等で詳しく伝え、児童の共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を行っていないが、保護者会を開催し相談等に対応している。今年度は「性」についての講演会を行った。	今年度は「性」についての講演会を行った。 また救命救急についても家族が参加できる機会を設けていく予定
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	運営規程は玄関先に誰でも閲覧出来るようにしている。また、利用者負担・支援プログラムに関しては契約時に対面にて説明している。	必ず対面にて説明を丁寧に行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画書の作成時には、丁寧に面談する時間を設け対応している。保護者へ意向調査のアンケートを実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		対面にて説明をして同意のサインをもらい、1部は保護者へ返している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて面談の機会を設けている。 午前中などの時間を設けて相談援助を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		保護者の交流は保護者会の開催で提供しているが、きょうだい同士での交流の支援は現在していない。「きょうだい支援」について保護者に正しく説明する機会を設けていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情対応マニュアルに沿い迅速に対応している。契約の際にも丁寧に説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		みらいてらす通信を毎月発行している。また活動内容をInstagramにて情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職員は個人情報の取り扱いについて誓約書にサインしている。また、個人情報は鍵付き書庫にて厳重に保管し持ち出しは禁止し、個人情報漏洩のまいようになっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		保護者や学校からの聞き取りで特性を把握して、個々にあった対応をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		年に1度、保護者会主催のマルシェにて地域住民と交流する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルは作成して全職員に回覧して押印し、定期的な訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年間計画に従い、計画的に実施している。役割を決めて災害時に職員に混乱が起きないようにしている。また、月1回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に必ず確認し、年に1回は保護者に情報を更新していただき、確認している。服薬依頼書を保護者から預かった場合のみ服薬を介助している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食物アレルギーについてはデジタル媒体にて職員が確認出来るようにしている。	タブレットやパソコンにて確認できるようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成・公表し計画に沿って研修・訓練点検などを実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		ホームページ、玄関に閲覧出来るように置きみれるようにしている。毎月みらいてらす通信でも伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		お朝のミーティングで報告をし、報告書を作成し共有している。月1回ヒヤリハット会議を行い案件を共有し、再発防止対策について話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待防止委員会を行い、職員の意識改革を行っている。年間計画に基づき対応している。また、管理者の外部研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		組織的に周知できているが、保護者に対して事前説明をしたことはない。身体拘束研修、身体拘束委員会にて理解し、保護者に説明できるようにしている。	